

「令和3年度病害虫発生予報第9号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 野菜類では、いちごのハダニ類の発生が、南関東、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県、愛媛県及び福岡県から注意報が発表されています。
- ・ 果樹・茶では、翌年の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、病害虫の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業にあわせて、感染落葉や病部を除去し、すみやかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニが多発した園地では、秋整枝後の秋冬期は休眠前に、早春期は休眠明けに薬剤散布等の防除を実施してください。

この他、野菜類のハスモンヨトウ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

都道府県病害虫防除所

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120105_boujoshou.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（11月4日付け）では、気温は北日本で高く、西日本では平年並みか低い、また、沖縄・奄美で低いと予想されています。降水量は北日本太平洋側で平年並か多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類	南九州	北関東、中国
	アブラムシ類	四国	東海、北九州
	ハダニ類	南関東、四国、九州	北関東、東海
	うどんこ病	四国	中国、北九州
	炭そ病	東海、四国	南九州
きゅうり	アザミウマ類	北九州	東海、四国
	コナジラミ類	東海、北九州	南関東、四国、南九州
	うどんこ病	四国	北関東
	べと病	四国	関東
トマト	コナジラミ類	東海、四国、九州	関東、甲信
	葉かび病	東海、四国	南九州
ねぎ	アザミウマ類	南関東	北東北、北関東、北九州
作物共通	オオタバコガ	東海、中国、北九州	近畿、四国
	シロイチモジヨトウ	中国、北九州	南関東、近畿、四国
	ハスモンヨトウ	中国、四国、北九州	東海、近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

いちご

・**ハダニ類**の発生が、南関東、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県、愛媛県及び福岡県から注意報が発表されています。本虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、発生初期をとらえた防除が重要です。ほ場の観察をきめ細かく行い、適期の防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**炭そ病**の発生が、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。本病は高温・多湿になると発生しやすいので、施設内が過湿とならないように、適切なかん水管理を行ってください。また、かん水の水滴が大きいと菌の胞子が水はねにより飛散するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

きゅうり

・**コナジラミ類**の発生が、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

トマト

・**コナジラミ類**の発生が、東海、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、愛知県及び徳島県から注意報が発表されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ

場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**葉かび病**の発生が、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、多湿条件で発生が助長されるので、施設栽培では、換気をする等の湿度管理や伝染源となるり病部の早期除去を実施してください。
なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、薬剤防除を実施する際には、同一系統薬剤の連用を避けるなど薬剤を適切に選定してください。

■ **ねぎ**

・**アザミウマ類**の発生が、南関東の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ **作物共通**

・**オオタバコガ**の発生が、東海、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県及び福岡県から注意報が発表されています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。

・**シロイチモジヨトウ**の発生が、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県から注意報が発表されています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。

・**ハスモンヨトウ**の発生が、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県及び福岡県から注意報が発表されています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。

■ **果樹・茶**

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域			
作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	ハダニ類	南関東、南九州	近畿、四国
果樹全般	果樹カメムシ類	四国	近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

■ **かんきつ**

・**ハダニ類**の発生が、南関東及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、発生初期をとらえた防除が重要です。ほ場の観察をきめ細かく行い、適期の防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性を獲得しやすいので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に同一系統の農薬の連続使用を避けてください。

■ **果樹・茶共通**

・果樹や茶では、翌年の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業にあわせて、感染落葉やり病部を除去

し、すみやかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニが多発した園地では、秋整枝後の秋冬期は休眠前に、早春期は休眠明けに薬剤散布等の防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和3年10月6日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月6日	愛媛県	かんきつ、かき、キウイフルーツ	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
10月6日	山口県	いちご	ハダニ類
10月8日	徳島県	果樹全般（かんきつ類、かき、キウイフルーツ）	果樹カメムシ類
10月12日	鳥取県	ブロッコリー	ブロッコリー黒すす病
10月14日	山口県	野菜類	ガ類（ハスモンヨトウ、コナガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ）
10月15日	鳥取県	かき	カキ炭そ病
10月26日	福岡県	野菜類	チョウ目（オオタバコガ、ハスモンヨトウ、コナガ）
10月26日	福岡県	いちご	ハダニ類
10月27日	熊本県	トマト	トマト黄化葉巻病
10月29日	愛媛県	いちご	ハダニ類
10月29日	徳島県	トマト、ミニトマト	コナジラミ類
11月1日	愛知県	トマト	コナジラミ類
11月8日	沖縄県	小ギク	アザミウマ類
11月8日	沖縄県	小ギク	ハダニ類

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月6日	沖縄県	茶	チャトゲコナジラミ
10月7日	鳥取県	さつまいも	サツマイモ基腐病
10月11日	静岡県	ブルーベリー	ブルーベリーうどんこ病（仮称）
10月15日	山口県	もも、すもも、うめ	ヨコバイ科の一種（ <i>Shingapora shinshana</i> ）
10月18日	東京都	うめ、あんず、もも、エドヒガン	ヨコバイ科の一種（ <i>Shingapora shinshana</i> ）
10月27日	山口県	ねぎ	ネギハモグリバエ（別系統）
10月27日	熊本県	ばれいしょ	<i>Stemphylium lycopersici</i>
10月29日	長野県	さつまいも	サツマイモ基腐病
10月29日	兵庫県	うめ、もも	ヨコバイ科の一種（ <i>Shingapora shinshana</i> ）
10月29日	埼玉県	なし	サクセスキクイムシ
10月29日	埼玉県	さつまいも	ヨツモンカメノコハムシ
11月1日	広島県	もも	ヨコバイ科の一種（ <i>Shingapora shinshana</i> ）
11月1日	愛知県	うめ、すもも、あんず	ヨコバイ科の一種（ <i>Shingapora shinshana</i> ）

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

ツヤハダゴマダラカミキリについて

今年度、外来種のツヤハダゴマダラカミキリによる街路樹等の被害が確認されています。これまで、海外においても果樹等の生産園地での被害報告は確認されていませんが、発生状況を注視し、農業被害を確認した場合には、各都道府県の病害虫防除所までご連絡ください。

次期作におけるスクミリンゴガイ対策について

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）が、一部の地域で発生しています。来年の発生を抑えるため、収穫後の防除として、本年の発生状況をふまえ、冬期の耕うんや石灰窒素の散布等による殺貝を実施してください。

なお、耕うん機などの農機具に付着した泥とともに、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する事例が報告されています。農機具の泥はよく落としてから移動させるよう、心がけてください。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

用語解説

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
甲信：山梨県、長野県
北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定

第10号：令和4年3月9日（水曜日）

（参考）これまでの発表

第1号：4月14日（水曜日）

第2号：5月12日（水曜日）

第3号：6月9日（水曜日）

第4号：7月7日（水曜日）

第5号：7月16日（金曜日）

第5号：8月4日（金曜日）

第7号：9月8日（水曜日）

第8号：10月6日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382